

「電力 自然エネで十分」

泊原発再稼働阻止へ署名よびかけ

札幌

原発問題全道連絡会（道原発連）と国民大運動北海道実行委員会は12日、高橋はるみ知事に提



署名に応じる人たち
12日、札幌市

出する「泊原発の再稼働をさせない道民署名」を呼びかける「イレブンアクション」宣伝をJR札幌駅前で行いました。参加者が道行く人たちに署名を訴えると、買い物客や勤労者、親子連れが「再稼働は絶対反対」と次々とペンを取りました。

中央区の60代の女性は「北海道地震が起きた時、泊原発が動いていたらどうなっていたかと思うと、ぞっとします。北海道は自然エネルギーの宝庫であり原発以外で十分まかなえるはず」としっかりと署名しました。

中央区の80代の男性は「泊原発建設時に反対の座り込みをしました。私の代で即廃炉とほならないうけど、将来のために、原発はやめると決断すべきです」といいます。

道労連の三上友衛議長、道原発連の米谷道保代表委員、日本共産党の畠山和也前衆院議員らが「世論調査は泊原発を動かすべきでない、が多数です。ブラックアウト（全域停電）でも、経営効率を求め泊原発に固執し、再稼働を狙う北電の責任は重大です。泊原発は再稼働せず廃炉へ」とこもこも訴えました。